

王室とホメオパシーの関係

1835年～	ウィリアム 4 世の妻であるアデレード女王 (1792 ～ 1849 年) がホメオパシーレメディへの関心を正式に公表
	アングルシー侯爵は、ホメオパシーの創始者であるサミュエル・ハーネマン博士の治療を受けるためにイギリス海峡を渡ってパリに行く
	アデレード女王は、宮廷の医師が治療できない深刻な病気に苦しんでおり、ハーネマンの同僚であるJohann Ernst Stapf 博士 (1788 ～ 1860 年) の治療を仰ぐ。治療結果は素晴らしく、これがきっかけで英国王室から多数のホメオパシーファンが生まれた。
1842年～	アングルシー侯爵の英国の専属ホメオパスであるハリス・ダンスフォード博士 (1808-1847) は、アデレード女王に処方されたレメディ手法に関する書籍を許可を得て書き上げる
	イギリスの上流階級の間で、ホメオパシーの人气が確立し、これ以降、英国のさまざまな王と女王が医師ホメオパスの治療を公然と使用する
	ジョージ 5 世の妻であるメアリー女王 (1865 ～ 1953 年) = メイ王女は、ロンドンのホメオパシー病院を移転 & 拡張するための募金活動を行う
	ジョージ 5 世 (1865 ～ 1936 年) は、自身が船酔いに苦しむたびにホメオパシーで治療できたと、ホメオパシーを高く評価
	キング エドワード 7 世 (1841-1910) は、英国人医師ホメオパス第一号であるフレデリック ハーヴェイ フォスター クイン博士 (1799-1878) と飲み友達だった
	エドワードの娘、モード (1869-1938) はノルウェーのホーコン 7 世と結婚しているが、両者ともサー ジョン ウィアー医学博士 (ホメオパス) が専属医師だった
1936年～	ウィンザー公エドワード王子として知られるエドワード 8 世 (1894-1972) は、1936 年に退位した後、ホメオパシー薬を粉末状にしてポケットに入れて持ち歩いていたことで知られている
	エドワード 8 世の兄弟であるキング ジョージ 6 世 (1895 ～ 1952 年) も、ホメオパシーを特にひいきにしていた。 彼は、賞を受賞した競走馬の 1 頭に けがのレメディ Hypericum (ハイペリカム) という名前を付けたほどである
	キングジョージ6世は、現在ロイヤル ロンドン ホメオパシー病院 (現 ロンドン ホメオパシー病院) の王室の称号の使用を正式に許可した
1900年～	エリザベス女王陛下 (1900-2002) は、英国ホメオパシー協会の経済的な支援を積極的に行っていた
	10 年半の間、エリザベス女王 2 世 (1926 ～ 2022 年) の主治医は、医師ホメオパスのピーター フィッシャー博士 (統合医療センター「ロイヤル ロンドン病院」の研究責任者)

